

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 4 年 1 月 6 日 (2022.1.6)

【公表番号】特表 2021-507690 (P2021-507690A)

【公表日】令和 3 年 2 月 25 日 (2021.2.25)

【年通号数】公開・登録公報 2021-010

【出願番号】特願 2020-530653 (P2020-530653)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/26 (2006.01)

C 1 2 N 15/10 (2006.01)

C 1 2 N 15/63 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 0 7 K 14/55 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/13 (2006.01)

C 1 2 N 15/62 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/14 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 19/08 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 21/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 21/04 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/02 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 15/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 K 38/20 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/26 Z N A

C 1 2 N 15/10 2 0 0 Z

C 1 2 N 15/63 Z

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	5/10	
C 0 7 K	14/55	
C 0 7 K	19/00	
C 1 2 N	15/13	
C 1 2 N	15/62	Z
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	17/14	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	19/08	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	21/00	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	1/16	
A 6 1 P	9/10	1 0 1
A 6 1 P	21/04	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	11/02	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	15/00	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 K	38/20	

【手続補正書】

【提出日】令和3年11月26日(2021.11.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号 27 のアミノ酸配列を含むペプチド。

【請求項 2】

配列番号 7 の配列を有する N 末端リーダーペプチドをさらに含む、請求項 1 に記載のペプチド。

【請求項 3】

C 末端にリンカーペプチドをさらに含む、請求項 1 に記載のペプチド。

【請求項 4】

リンカーペプチドは、(GGGGS)_n (式中、n は 1、2、3、または 4 である) の配列を含む、請求項 3 に記載のペプチド。

【請求項 5】

n は 1 である、請求項 4 に記載のペプチド。

【請求項 6】

n は 2 である、請求項 4 に記載のペプチド。

【請求項 7】

n は 3 である、請求項 4 に記載のペプチド。

【請求項 8】

n は 4 である、請求項 4 に記載のペプチド。

【請求項 9】

F c ペプチドをさらに含む、請求項 1 に記載のペプチド。

【請求項 10】

F c ペプチドは、配列番号 8 または配列番号 15 の配列を含む、請求項 9 に記載のペプチド。

【請求項 11】

N 末端に配列番号 7 の配列を有するリーダーペプチドをさらに含む、請求項 9 に記載のペプチド。

【請求項 12】

F c ペプチドは C 末端にある、請求項 9 に記載のペプチド。

【請求項 13】

F c ペプチドは N 末端にある、請求項 9 に記載のペプチド。

【請求項 14】

配列番号 27 のペプチドおよび F c ペプチドを連結するリンカーペプチドをさらに含む、請求項 1 に記載のペプチド。

【請求項 15】

N 末端に配列番号 7 の配列を有するリーダーペプチドをさらに含む、請求項 14 に記載のペプチド。

【請求項 16】

リンカーペプチドは、(G G G G S) n (n は 1、2、3、または 4 である) である、請求項 14 に記載のペプチド。

【請求項 17】

n は 4 である、請求項 16 に記載のペプチド。

【請求項 18】

F c ペプチドは、配列番号 8 または配列番号 15 の配列を含む、請求項 14 に記載のペプチド。

【請求項 19】

F c ペプチドは C 末端にある、請求項 14 に記載のペプチド。

【請求項 20】

F c ペプチドは N 末端にある、請求項 14 に記載のペプチド。

【請求項 21】

配列番号 40 の配列を含むペプチドを含む、請求項 14 に記載のペプチド。

【請求項 22】

請求項 1 に記載のペプチドを含む医薬組成物。

【請求項 23】

請求項 14 に記載のペプチドを含む医薬組成物。

【請求項 24】

請求項 19 に記載のペプチドを含む医薬組成物。

【請求項 25】

請求項 21 に記載のペプチドを含む医薬組成物。

【請求項 26】

配列番号 26 のアミノ酸配列を含むペプチド。

【請求項 27】

配列番号 7 の配列を有する N 末端リーダーペプチドをさらに含む、請求項 16 に記載のペプチド。

【請求項 28】

C 末端にリンカーペプチドをさらに含む、請求項 26 に記載のペプチド。

【請求項 29】

リンカーペプチドは、(GGGS) n (式中、 n は 1、2、3、または 4 である) の配列を含む、請求項 28 に記載のペプチド。

【請求項 30】

n は 1 である、請求項 29 に記載のペプチド。

【請求項 31】

n は 2 である、請求項 29 に記載のペプチド。

【請求項 32】

n は 3 である、請求項 29 に記載のペプチド。

【請求項 33】

n は 4 である、請求項 29 に記載のペプチド。

【請求項 34】

Fc ペプチドをさらに含む、請求項 26 に記載のペプチド。

【請求項 35】

Fc ペプチドは、配列番号 8 または配列番号 15 の配列を含む、請求項 34 に記載のペプチド。

【請求項 36】

N 末端に配列番号 7 の配列を有するリーダーペプチドをさらに含む、請求項 34 に記載のペプチド。

【請求項 37】

Fc ペプチドは C 末端にある、請求項 34 に記載のペプチド。

【請求項 38】

Fc ペプチドは N 末端にある、請求項 34 に記載のペプチド。

【請求項 39】

配列番号 26 のペプチドおよび Fc ペプチドを連結するリンカーペプチドをさらに含む、請求項 26 に記載のペプチド。

【請求項 40】

N 末端に配列番号 7 の配列を有するリーダーペプチドをさらに含む、請求項 39 に記載のペプチド。

【請求項 41】

リンカーペプチドは、(GGGS) n (n は 1、2、3、または 4 である) である、請求項 39 に記載のペプチド。

【請求項 42】

n は 4 である、請求項 41 に記載のペプチド。

【請求項 43】

Fc ペプチドは、配列番号 8 または配列番号 15 の配列を含む、請求項 39 に記載のペプチド。

【請求項 44】

Fc ペプチドは C 末端にある、請求項 39 に記載のペプチド。

【請求項 45】

Fc ペプチドは N 末端にある、請求項 39 に記載のペプチド。

【請求項 46】

配列番号 39 の配列を含むペプチドを含む、請求項 39 に記載のペプチド。

【請求項 47】

請求項 26 に記載のペプチドを含む医薬組成物。

【請求項 48】

請求項 39 に記載のペプチドを含む医薬組成物。

【請求項 49】

請求項 43 に記載のペプチドを含む医薬組成物。

【請求項 50】

請求項 46 に記載のペプチドを含む医薬組成物。

【請求項 51】

T 制御性細胞を活性化するインビトロの方法であって、T 制御性細胞を請求項 1 ~ 21 および 26 ~ 46 のいずれか 1 項に記載のペプチドまたは請求項 22 ~ 25 および 47 ~ 50 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物と接触させる工程を含む前記方法。

【請求項 52】

対象における炎症性障害を処置する方法で使用するための、請求項 22 ~ 25 および 47 ~ 50 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物であって、前記方法は、それを必要とする対象に、前記医薬組成物の治療的に有効な量を投与する工程を含む、前記医薬組成物。

【請求項 53】

炎症性障害は、円形脱毛症、アトピー性皮膚炎、疱疹状皮膚炎、乾癬、ループス、移植片対宿主病 (GVHD)、炎症、自己免疫疾患、アトピー性疾患、腫瘍随伴性自己免疫疾患、軟骨炎症、関節炎、関節リウマチ、若年性関節炎、若年性関節リウマチ、小関節型若年性関節リウマチ、多関節型若年性関節リウマチ、全身型若年性関節リウマチ、若年性強直性脊椎炎、若年性腸炎性関節炎、若年性反応性関節炎、若年性ライター症候群、SEA 症候群 (血清陰性、腱付着部症、関節症症候群)、若年性皮膚筋炎、若年性乾癬性関節炎、若年性強皮症、若年性全身性エリテマトーデス、若年性血管炎、小関節型関節リウマチ、多関節型関節リウマチ、全身型関節リウマチ、強直性脊椎炎、腸炎性関節炎、反応性関節炎、ライター症候群、SEA 症候群 (血清陰性、腱付着部症、関節症症候群)、皮膚筋炎、乾癬性関節炎、強皮症、血管炎、筋炎、多発性筋炎、皮膚筋炎、結節性多発動脈炎、ウェゲナー肉芽腫症、動脈炎、リウマチ性多発筋痛症、サルコイドーシス、硬化症、原発性胆汁性硬化症、硬化性胆管炎、シェーグレン症候群、尋常性乾癬、滴状乾癬、逆乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、皮膚炎、アテローム性動脈硬化症、スチル病、全身性エリテマトーデス (SLE)、重症筋無力症、炎症性腸疾患 (IBD)、クローン病、潰瘍性大腸炎、セリアック病、多発性硬化症 (MS)、喘息、COPD、副鼻腔炎、ポリープを伴う副鼻腔炎、好酸球性食道炎、好酸球性気管支炎、ギランバレー病、I 型糖尿病、甲状腺炎 (例えば、グレーブス病)、アジソン病、レイノー現象、自己免疫性肝炎、ステロイド抵抗性慢性移植片対宿主病、移植拒絶反応 (例えば腎臓、肺、心臓、皮膚、等)、腎臓損傷、C 型肝炎誘発性血管炎、自然妊娠喪失、脱毛症、白斑、巣状分節性系球体硬化症 (FSGS)、微小変化群、膜性腎症、ANCA 関連系球体腎症、膜性増殖性系球体腎症、IgA 腎症、ループス腎炎等である、請求項 52 に記載の医薬組成物。

【請求項 54】

T 制御性細胞における STAT5 リン酸化を促進または刺激する方法で使用するための、請求項 22 ~ 25 および 47 ~ 50 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物であって、前記方法は、それを必要とする対象に、前記医薬組成物の治療的に有効な量を投与する工程を含む、前記医薬組成物。

【請求項 55】

炎症性障害の処置のための医薬品の製造における、請求項 1 ~ 47 のいずれか 1 項に記載のペプチドまたは請求項 48 ~ 50 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物の使用。

【請求項 56】

炎症性障害は、円形脱毛症、アトピー性皮膚炎、疱疹状皮膚炎、乾癬、ループス、移植片対宿主病 (GVHD)、炎症、自己免疫疾患、アトピー性疾患、腫瘍随伴性自己免疫疾患、軟骨炎症、関節炎、関節リウマチ、若年性関節炎、若年性関節リウマチ、小関節型若年性関節リウマチ、多関節型若年性関節リウマチ、全身型若年性関節リウマチ、若年性強直性脊椎炎、若年性腸炎性関節炎、若年性反応性関節炎、若年性ライター症候群、SEA

症候群（血清陰性、腱付着部症、関節症症候群）、若年性皮膚筋炎、若年性乾癬性関節炎、若年性強皮症、若年性全身性エリテマトーデス、若年性血管炎、小関節型関節リウマチ、多関節型関節リウマチ、全身型関節リウマチ、強直性脊椎炎、腸炎性関節炎、反応性関節炎、ライター症候群、S E A 症候群（血清陰性、腱付着部症、関節症症候群）、皮膚筋炎、乾癬性関節炎、強皮症、血管炎、筋炎、多発性筋炎、皮膚筋炎、結節性多発動脈炎、ウェゲナー肉芽腫症、動脈炎、リウマチ性多発筋痛症、サルコイドーシス、硬化症、原発性胆汁性硬化症、硬化性胆管炎、シェーグレン症候群、尋常性乾癬、滴状乾癬、逆乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、皮膚炎、アテローム性動脈硬化症、スチル病、全身性エリテマトーデス（S L E）、重症筋無力症、炎症性腸疾患（I B D）、クローン病、潰瘍性大腸炎、セリアック病、多発性硬化症（M S）、喘息、C O P D、副鼻腔炎、ポリープを伴う副鼻腔炎、好酸球性食道炎、好酸球性気管支炎、ギランバレー病、I 型糖尿病、甲状腺炎（例えば、グレーブス病）、アジソン病、レイノー現象、自己免疫性肝炎、ステロイド抵抗性慢性移植片対宿主病、移植拒絶反応（例えば腎臓、肺、心臓、皮膚、等）、腎臓損傷、C 型肝炎誘発性血管炎、自然妊娠喪失、脱毛症、白斑、巣状分節性糸球体硬化症（F S G S）、微小変化群、膜性腎症、A N C A 関連糸球体腎症、膜性増殖性糸球体腎症、I g A 腎症、ループス腎炎等である、請求項 5 5 に記載の使用。

【請求項 5 7】

請求項 1 ～ 4 7 のいずれか 1 項に記載のペプチドをコードする核酸分子。

【請求項 5 8】

請求項 5 7 に記載の核酸分子を含むベクター。

【請求項 5 9】

請求項 5 7 に記載の核酸分子を含むプラスミド。

【請求項 6 0】

請求項 5 7 に記載の核酸分子を含む細胞。

【請求項 6 1】

請求項 5 9 に記載のプラスミドを含む細胞。

【請求項 6 2】

請求項 5 8 に記載のベクターを含む細胞。

【請求項 6 3】

請求項 1 ～ 4 7 のいずれか 1 項に記載のペプチドまたは本明細書に記載されているペプチドを含むまたは発現する細胞。